



# 持続可能なふるさとの豊かな営みを創出するグローバル人材の育成

## 目指す人材像

グローバルな視点を持ち、地域の活性化に資する人材

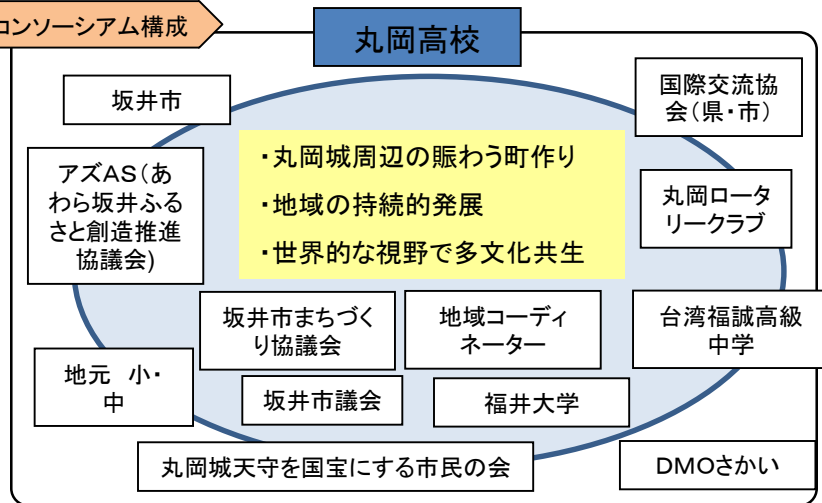
## 研究開発の背景

身に付ける  
資質・能力

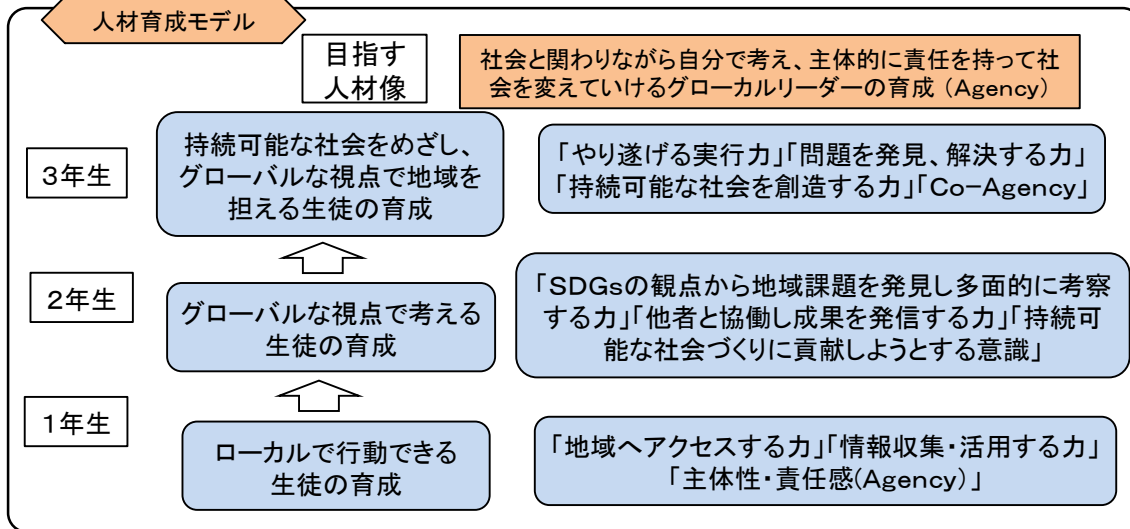
- 地域や世界と関わりながら、自分で考え、主体的に責任を持って行動できる力
- 多文化共生社会をめざし、外国人と協働して課題を発見し解決できる力
- 世界的な視野で地域の資産を生かして、新しい産業を生み出す起業力

- 地域活性、人口減少抑制への地域の願い
- 普通科公立高校の魅力化の必然性
- H28からのMプロジェクトによる探究活動の基盤
- タイ、台湾との交流の進展

### コンソーシアム構成



### 人材育成モデル



### 令和3年度の目標

- ・地域や社会事象への関心度の高い生徒の育成
- ・継続的な協働関係の構築(丸高応援団を増やす)
- ・継続性のあるカリキュラムと評価方法の確立
- ・継続的な広報と、発表回数増加
- ・研究成果の維持継続と本校の発展方法の模索

### 令和3年度の実践

- ・各学年における「Mプロジェクト(地域探究学習)」のカリキュラムの定着
- ・学校設定科目「グローバルスタディ」での実践(タイとのオンライン交流の回数増)
- ・「地域協働コーディネーター」を中心とする広報活動(テレビ番組11本、グローバル通信39号、生徒の地域活動のコーディネート)
- ・探究活動で身につけた知識・技能や経験を活用した進路実現

### 成果と課題

#### ◆成果

- ・地域や社会の出来事への関心度の高まり69%
- ・本校教育活動に参画する外部人材約80名
- ・地域と協働した活動約50回
- ・成果発表18回、通信39号まで発行、丸高カレッジ

#### ◆課題

- ・変化する社会への対応力と新たな価値の創造力を兼ね備えた生徒の育成を目指したカリキュラム開発の継続
- ・地域の持続的発展の中核として生徒数確保
- ・地域のニーズに合った連携関係の構築

### 3年間の成果を令和4年度以降へ継続

- ・新コースの創設「みらい共創コース」「スポーツ探究コース」
- ・学校設定教科カリキュラム開発「みらい(1・2年で各1単位集中履修)」「グローバルスタディ英語・社会」の継続
- ・R5～の「地域みらい留学」に向けた広報活動の開始